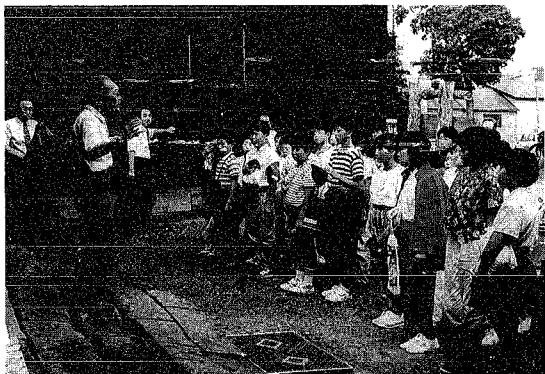


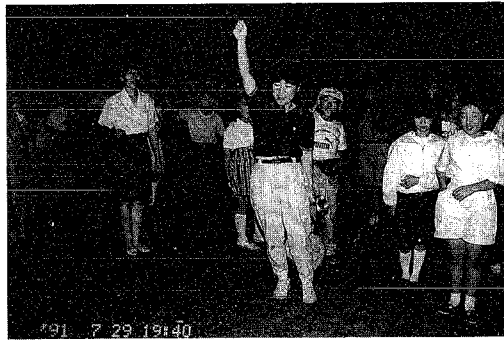
▶これが「樺戸集治監」今の刑務所



▶とてもおいしかったパーベキュー

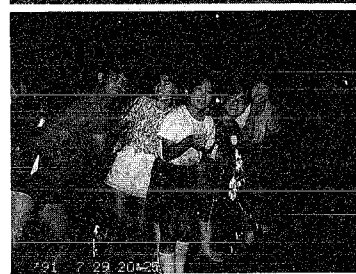


◀みんなが見ると...



◀それーッキャンプファイヤー

▼月形町の途中でハイポーズ「大倉山シャンツェ」



191 7 31 5:45
新潟西港で「はいポーズ」

小学生最後の夏休みの 大きな思い出……

七月二十八日、月潟小学校六年生五十七人は、うっとうしい長梅雨の続く新潟県をあとにして、一路北海道の月形町へと旅立ちました。十八時間も船に揺られて翌二十九日の早朝小樽港に着岸し、午前十一時、月形小学校へ到着しました。長旅の疲れも見せず元気にバスから降りた子供たちは、さっそく体育館での歓迎の会にのぞみました。

歓迎の会の一番の楽しみは、月形小学校児童との名刺の交換です。どの子も船の中でいろいろ工夫して一生懸命作った名刺でどんな友達ができるか胸をワクワクさせて名刺を握り締めています。ところが、いざ名刺交換になると初対面のせいかなかなか思うように名刺を交換できませんでした。名刺が残った人は、午後からの交流会でたくさんさんの友達ができることを期待して歓迎会は終了しました。

昼食の後、知来乙小学校の躍動感あふれる樺戸太鼓で歓迎セレ



▶「文通しましょうね」

モノーは幕をあげました。中和小学校児童の一輪車に乗っての曲芸、月形小学校児童のプラスチックアンサンブルの演奏と続き、最後はいよいよ月潟小学校児童による月潟太鼓の披露です。メンバー十人は、この日のために特訓を重ねてきた成果をいかんなく発揮し「黄金」「月潟ぼやし」の二曲を月形町に轟かせていました。また、広大な皆楽公園での夕食会では、月形町の先生方、父兄の人たちや役場のみなさんが朝から準備してくださったパーベキューに舌鼓をうち、キャンプファイヤーで交流会のフィナーレを迎えました。このころになると月形と月潟の子供たちは和気あいあい、文通の約束もできたようです。

翌朝、月形町の子供たち、父兄のみなさんに見送られて月形町をあとにして、再び小樽港から帰途につきました。

短い交流会ではありましたが、すばらしい施設や雄大な自然を目のあたりにして、月潟村では体験できない数々の出来事を満喫し、月潟小学校児童にとっては一生忘れられないことのできない意義深い思い出がしっかりと刻みこまれたことでしょう。

この交流会が、月形と月潟のかたい絆となり、将来にわたってますます友好が深まるものと期待しています。



◀「よろしくね」「ごっごっ」